

登録コード	E2670900	開講年度	2026					
授業科目	学校保健基礎					担当教員	友川 幸	
英文授業名	Basic School Health					副担当		
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	火曜・3時限			対象学生
講義室	教育E201			授業形態	講義	遠隔授業科目		備考
信大コンピテンシー 該当								
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					⇔	【授業の達成目標】	
	26Eカリ, 25Eカリ, 24Eカリ, 23Eカリ, 22Eカリ, 21Eカリ, 20Eカリ							
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観					⇔	学校保健の実践において求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観を身につける。	
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能					⇔	学校保健を実施していく上で必要不可欠な専門的知識と技術を身につける。具体的には、学校保健の目的や主な活動等を説明できるようになる。また、日本や海外の学校保健の特色や、学校保健の果たすべき役割、学校保健を現場でよりよく実践していくために必要な課題を議論できるようになる。	
(2)授業で学べる「テーマ」	地域運営、環境共生、多文化協働、健康長寿、防災減災							
(3)全学横断特別教育プログラム								
(4)授業の概要	具体例を交えた講義を通して、学校保健のねらいと役割を理解し、学校保健に関する基礎知識を解説する。また、授業内での各テーマに関する議論やミニレポート作成を通して、日本や海外の学校保健の特色や、学校保健の果たすべき役割、学校保健を現場でよりよく実践していくために必要な課題を議論する。							
(5)授業計画	第1回：ガイダンス（講義予定と授業評価について）、子どもの健康問題と学校保健，チーム学校 第2回：学校保健の意義とその構造（意義と役割，目的，法律，行政組織と人材，領域構造など） 第3回：学校保健の歴史と現在の課題 第4回：子どもの発育発達と健康，ヘルスプロモーション 現代的小児の健康問題とライフスタイル，生育環境 第6回：学校保健の組織活動，学校保健計画，学校安全計画，保健室経営など 第7回：子どもの健康状態の把握（健康観察，健康相談，健康診断），中間試験 第8回：喫煙及び喫煙防止教育，薬物乱用，アルコール 第9回：学校安全と環境整備，学校安全と環境整備に課する演習 第10回：感染症とその対応、手洗い指導・演習 第11回：心の健康問題とその対応 第12回：学校給食と食育，中間試験 第13回：学校保健の実際 第14回：開発途上国と先進国の教育，子どもの健康・環境問題，学校保健の世界的潮流 第15回：期末試験と授業のまとめ、アンケートの回答 ※各授業の前後に小テストおよび授業中にグループ発表を行う場合がある。							
(6)成績評価の方法	授業のねらい①の到達状況をはかるための 1) 学校保健の基礎的な知識の習得と理解の深まり評価する中間試験（25点） 2) 授業内容の理解と自己学習の状況を評価するための授業ノート(15点) 授業のねらい②の到達状況をはかるための 3) 学校保健の基礎的な知識の習得と理解の深まり評価するグループ発表（15点） 4) 学校現場で求められている保健活動についての洞察の深まりを評価する期末試験(40点) 5) 学校保健に関するレポート（5点） 上記をもとに総合的に評価する。得点率による評価基準は次のとおりとする。 得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可。							
(7)成績評価の基準	・ 中間試験の場合： 授業で説明した内容と同レベルの問題が解ければ「水準にある」，応用問題が解ければ「やや上にある」，やや難しい応用問題が解ければ「かなり上にある」，例題から難しい応用問題が解ければ「卓越している」と評価する。 ・ 授業ノートの場合 （i）授業のレジュメが印刷，貼りつけされている，（ii）授業内容に関するコメントが記載されている，（iii）授業に直接関係することに関して，自分で調べた情報が記載されている，（iv）授業に関する応用的な内容に関して自分で調べた情報が記載されている，（v）自分で調べた内容に関して批判的考察がされている。（i）から（v）の5項目を満たしていれば「かなり上にある」。4項目できていれば「やや上にある」。3項目までできていれば「水準にある」と評価する。 ・ グループ発表の場合： （i）対象の課題が十分に理解されている，（ii）問題の設定が適切である，（iii）対象の興味や関心							

(7)成績評価の基準	をひく内容になっている (iv) 発表時間が適切に確保されている, (v) 適切な発表が行われている。 (i) から (v) の5項目を満たしていれば「卓越している」,4項目までできていれば, 「かなり上にある」。3項目までできていれば「やや上にある」。2項目までできていれば「水準にある」と評価する。 ・期末試験の場合: (i)問題の設定が適切である。(ii) その問題の背景を説明できている。(iii) 提示された問題にどのような課題があるのかを指摘できている。(iv) 提示された問題の課題に対しての既存の学説が提示する解決法が適切に把握できている。(v) 自分の見解を提示できている, かつ, 誤字脱字がなく, 引用文献やデータの出所が明確である。(i) から (v) の5項目を満たしていれば「卓越している」,4項目までできていれば, 「かなり上にある」。3項目までできていれば「やや上にある」。2項目までできていれば「水準にある」と評価する。 ・レポートの場合: (i)問題の設定が適切である。(ii) その問題の背景を説明できている (iii) 提示された問題にどのような課題があるのかを指摘できている。(iv) 提示された問題の課題に対しての既存の学説が提示する解決法が適切に把握できている (v) 自分の見解を提示できている, かつ, 誤字脱字がなく, 引用文献やデータの出所が明確である。(i) から (v) の5項目を満たしていれば「卓越している」,4項目までできていれば, 「かなり上にある」。3項目までできていれば「やや上にある」。2項目までできていれば「水準にある」と評価する。
(8)事前事後学習の内容	eALPS上に次週の授業内容を掲載するので, ダウンロードして予習しておくこと。自宅学習では, 専門書, 新聞, ニュース, インターネットなどを用いて, 授業で扱った内容や健康や安全, 環境に関する情報や時事問題について学習すること。授業内で十分に理解できなかった事項は, 授業内で紹介する書籍などを用いて, 自宅学習などを行い, 補完・理解するように努めること。この授業は90時間の学修を必要とする内容です。従って, 60時間以上の時間外学習が必要となります。
(9)履修上の注意	プレゼンテーションの資料に関しては, インターネットの情報のコピーや出所の不明瞭な情報を使用しないこと。授業への遅刻, 授業に関係ない作業 (授業中の飲食, ガムを噛むこと, 他の授業のテスト勉強や提出物の作成, 携帯電話の使用) および私語を禁止する。履修にあたっては, 公衆衛生学を履修済みであることが望ましい。アルバイトや部活動などによる欠席は公欠として認められない。
(10)質問, 相談への対応及び連絡先	授業に関する質問は, 基本的に授業内で確認するようにし, 授業内で解決できなかった質問については, sachitjp@shinshu-u.ac.jpにメールで質問すること。オフィスアワーは, 毎週火曜日の12時20分~12時50分の間であり, E309室にて対応する。相談事項等がある場合は, 必ず事前にメールで連絡すること。
【教科書】	学校保健ハンドブック 第6次改訂 教員養成系大学保健協議会 編 平成27年
【参考文献】	学校保健マニュアル第5版 高石昌弘, 出井美智子 南山堂 2001年 (4515円) 新版 学校保健概説 高石昌弘 同文書院 1994年 (2205円) 現代保健科教育法 小倉学 大修館書店 1986年 (2310円)